

レイヤによる線種/線幅/線色の設定は使用せずに、線種/線幅/線色をセットで使用するには

■対象ソフト


図脳 RAPIDPRO18/図脳 RAPID18

図脳 RAPIDPRO17/図脳 RAPID17

図脳 RAPID16PRO/図脳 RAPID16

■概要

レイヤによる線種/線幅/線色の設定は使用せずに、線種/線幅/線色をセットで使用したい場合は、5 つまでであれば、設定して使用することができます。

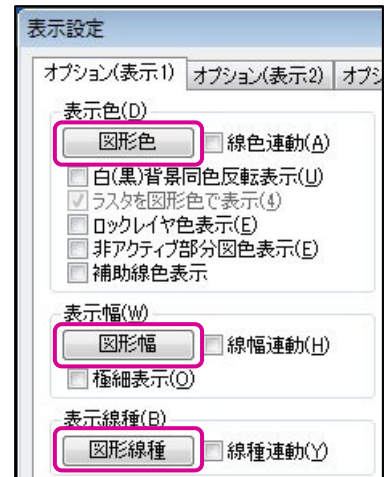
※[表示]-[表示設定]コマンドの設定は[図形色][図形幅][図形線種]とします。


■詳細解説

例)

- ・ 実線/極細/黒色
- ・ 実線/細線/黒色
- ・ 破線/細線/黒色
- ・ 一点短鎖線/極細/紫色
- ・ 二点長鎖線/極細/緑色

の 5 セットを設定して作図時に使用したい場合



① [設定]-[入力属性設定]コマンドをクリックします。

② [入力属性設定]ダイアログボックスが表示されます。

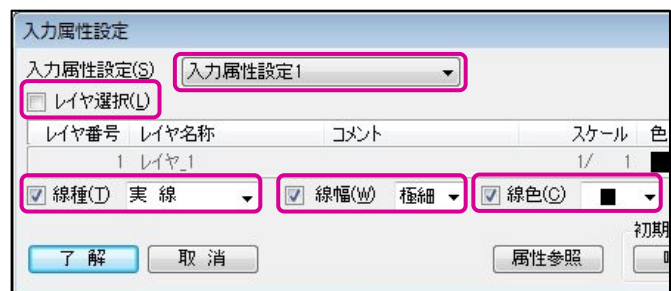
[入力属性設定]の一覧から[入力属性設定 1]を選択します。

[レイヤ選択]のチェックを外します。

[線種]にチェックを付け、[実線]を選択します。

[線幅]にチェックを付け、[極細]を選択します。

[線色]にチェックを付け、[黒色]を選択します。



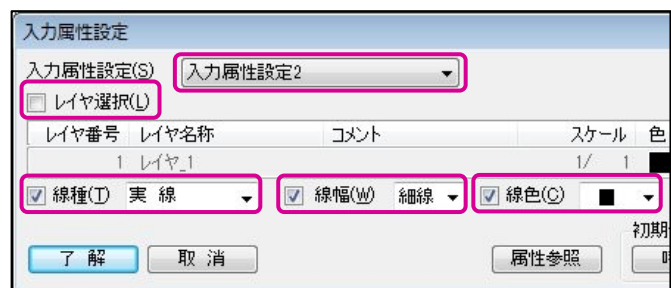
③ [入力属性設定]の一覧から[入力属性設定 2]を選択します。





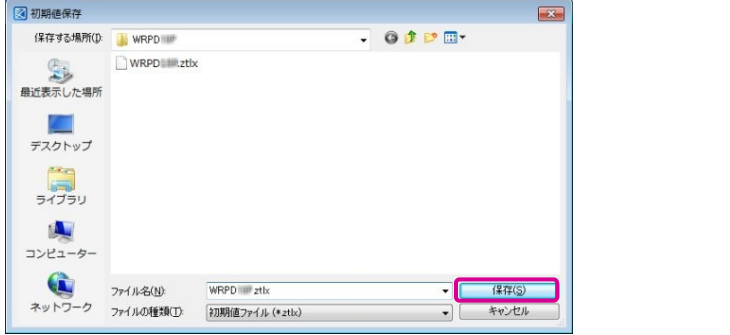
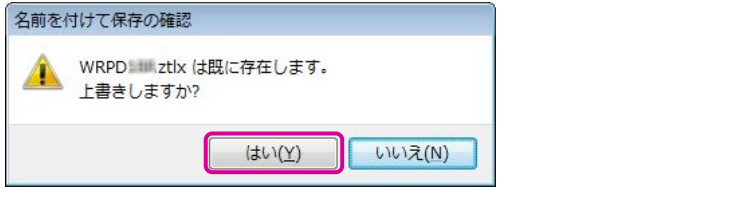
[レイヤ選択]のチェックを外します。

[線種]にチェックを付け、[実線]を選択します。

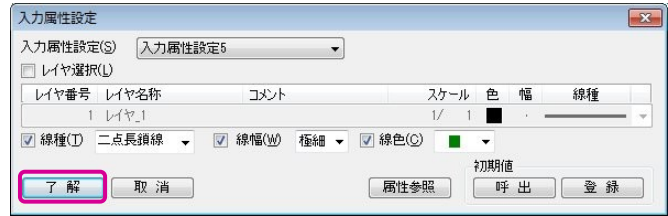
[線幅]にチェックを付け、[細線]を選択します。


[線色]にチェックを付け、[黒色]を選択します。

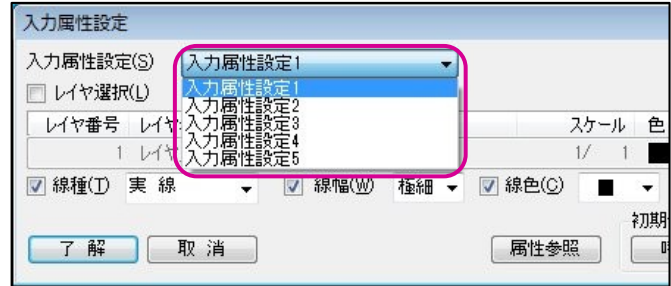
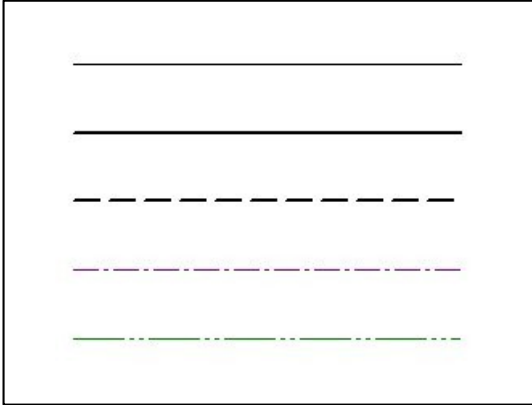



<p>④ [入力属性設定]の一覧から[入力属性設定 3]を選択します。</p> <p>[レイヤ選択]のチェックを外します。</p> <p>[線種]にチェックを付け、[破線]を選択します。</p> <p>[線幅]にチェックを付け、[細線]を選択します。</p> <p>[線色]にチェックを付け、[黒色]を選択します。</p>	
<p>⑤ [入力属性設定]の一覧から[入力属性設定 4]を選択します。</p> <p>[レイヤ選択]のチェックを外します。</p> <p>[線種]にチェックを付け、[一点短鎖線]を選択します。</p> <p>[線幅]にチェックを付け、[極細]を選択します。</p> <p>[線色]にチェックを付け、[紫色]を選択します。</p>	
<p>⑥ [入力属性設定]の一覧から[入力属性設定 5]を選択します。</p> <p>[レイヤ選択]のチェックを外します。</p> <p>[線種]にチェックを付け、[二点長鎖線]を選択します。</p> <p>[線幅]にチェックを付け、[極細]を選択します。</p> <p>[線色]にチェックを付け、[緑色]を選択します。</p>	
<p>⑦ [初期値]欄の[登録]ボタンを押します。</p>	
<p>⑧ [初期値保存]ダイアログボックスが表示されます。[保存]ボタンを押します。</p>	
<p>⑨ [はい]ボタンを押します。</p>	

- ⑩ [入力属性設定]ダイアログボックスに戻ります。
[了解]ボタンを押します。



- ⑪ [設定]-[入力属性設定]コマンドをクリックし、
[入力属性設定 1]~[入力属性設定 5]を切り替えることで該当のセットで作図できます。



- ※ 入力属性設定を切り替えるアイコンは、[ツール]-[ツール設定]コマンドをクリックし、
[コマンド]タブの[その他]-[入力属性設定]から画面上にアイコンとして表示させることができます。



以上